

# 邇摩高校PTA広報



# 百合樹

第 35 号

令和 5 年 2 月 2 8 日

島根県立邇摩高等学校PTA

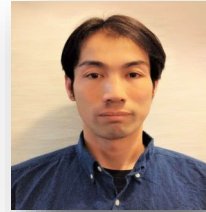
## ユリノキ

本校が明治36年、大森に創設された際に植栽された由緒ある樹木である。創立100周年の記念樹としても採用された。

### PTA会長あいさつ

卒業生の皆さんへ

住田 善一



ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆様、ご家族の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。そして、この三年間、子どもたちを支え、ご指導いただいた邇摩高校の教職員の皆様、心より感謝申し上げます。

さて、皆さんの高校生活は新型コロナウイルス感染症に振り回された三年間でした。休校になり、例年、行っていた学校活動やイベントができず、部活動の大会は中止となり、遊びに行くこともできず、何もかもが制限される毎日でした。ただ、今、振り返れば、そんな前例のない手探りの中で、新しい取り組みや、創意工夫した活動を実践し、自らの手で前例を作り出したことは、今後の人生に必ずプラスになることだと思います。また、当たり前前の生活や当たり前前の出来事が、実は当たり前前ではないということに気づいたこと、当たり前前に流れる日々の生活に感謝すること、そんな思いをあらためて感じた時期でもあったのかと思います。

今後とも予測できない変化が、私たちの前に立ちまはだかることも、

考えられます。この三年間の経験は今後の人生にも必ず生きてくるはずですが、困難は人を強くするのです。

皆さんには、これからも夢を持ち続け、力強く生きていってほしいと願っています。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、教職員の皆様、PTA役員・評議員をしていただいた皆様、そして会員の皆様、本年度もPTA活動にご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様のおかげで、無事に一年間のPTAの運営を行うことができました。今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。



全国高等学校PTA連合会大会

(於：石川県)

右：黒崎校長

左：久保PTA副会長

### 校長あいさつ

黒崎 千春



「将来の社会を担う皆さんへ」

8月に石川県で開催

された全国高等学校PTA連合会大会に参加させていただきました。そこで(株)ファミリーマート顧問(元社長)の澤田貴司氏の「やりたいことをやる」と題して記念講演がありました。澤田氏は、伊藤忠商事、ユニクロでの勤務の実績を買われファミリーマートの社長に就任されたとてもエネルギー溢る方でした。澤田氏が社長の時の対談でこれから社会人となる学生に対してのアドバイスが印象的だったので紹介します。

まずは、与えられた仕事に対して必死に全力でやりきる。そうしたらその仕事は絶対に好きになる。全力でやりきらない人には絶対次の扉は開かないし、次のチャンスは来ない。その仕事をしつかりやっつけていけば必ず次のチャンスは来る。「おもしろくないな」という想いでやっていたらその様子でわかる。そんな人に仕事は任せられない。しかし、どんな仕事でも与えたら「ありがたいございます」といって一生懸命やっている姿を見たら、そしてその仕事がある程度できたら「次これやってみて」って与えちゃうでしょ。どんどんどんどん与えるんですよ。だから文句言う前に目の前の仕事にがむしゃらに取り組むことが大事です。

やりたいことは、いずれみつかると思いがちだけど、目の前のことを一生懸命にやれば必ず見つかります。

また、学生のうちに何をすべきかという問いに対するメッセージとしては、「学生には自由な時間がある。人に迷惑がからないことであれば、例えばスポーツしたり勉強したり、自由な時間を思い切り使って『自分のやりたいことをやる』ということが一番大事なことじゃないですか。」とありました。講演を聞き「自由にやりたいことをやるためには、信頼関係を築くことや、必要な知識を蓄えること、失敗を恐れずにチャレンジすることが必要である。」と感じました。

皆さんには、将来の社会を担う若者として、チャレンジ精神や発進力、行動力を持った社会人になって欲しいと思います。

保護者の皆様より

「保護者の声」

PTA副会長 久保 孝次

卒業おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症から

始まった高校生活でした。そこから何を学べたでしょうか。世の中が目まぐるしく変わり、十八歳が成人となりましたね。これからも日々変化していくという環境は変わらないでしょう。変化を感じ、変化を学び、変化を乗り越え、変化に対応する。変化を楽しめる、そんな人であってください。先生方、保護者の皆様、子ども達を支えてくださった全ての方々に感謝申し上げます。

「卒業おめでとう」

PTA評議員 島田 大輔

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年前、緊張した姿で入学式に臨んだのを懐かしく思い出します。

高校生活はどうでしたか。部活を頑張っている姿、友人たちと楽しそうな姿を見る度、嬉しい気持ちにさせてもらいました。

高校を卒業すれば今まで以上の試練や困難にぶつかると思いますが、そんな時、高校で学び、経験したことを思い出し、自分で選んだ道をしつかりと歩んでいってほしいと願っています。何事にも感謝の気持ち忘れずに。

最後に三年間お世話になりました皆様方に感謝いたします。本当にありがとうございます。

「卒業に向けて」

PTA評議員 三澤昌子

入学式の看板前、マスクを顎下に下げて写真に収まる様子が、ついこの前のように感じます。

学校の様子を聞いたのは、毎日最寄りの駅まで送迎する車の中。勉強や部活のことも様子も伺い知られて、なくてはならない貴重な時間でした。頑張ってきた三年間、学校生活を通じて経験した事は一生の思い出になります。その経験を活かして、これから始まる新しい生活を乗り越えて行けることでしょう。

支えてくださった方々に感謝をしつつ、次の一歩をしつかりと歩んで行ってください。

最後に三年間ご指導して頂いた先生方、大変お世話になりました。ありがとうございました。

「卒業おめでとう」

PTA評議員 福岡正伸

毎朝、学校の準備に大忙し。身だしなみチェック。やっぱり女子高生してるんだなと思えました。

列車に間に合うかヒヤヒヤでした。学校では、コロナ禍の中、活動に皆さんの制限がかり、我慢しなくてははいけない学生生活だったと思います。

つたと思います。

三年生になり体育祭や邇摩高フェアで娘の姿を見ることが出来ました。笑顔で友達と接する姿を見て、邇摩高校を卒業出来ることを嬉しく思いました。四月からは、進学し環境も大きく変わると思っています。笑顔を忘れず、大変なことも乗り越えられると信じています。

最後にご指導をして頂いた皆様に感謝致します。本当にありがとうございました。

[邇摩高校 フェイスブック ホームページ](#)

[ご覧下さい](#)



邇摩高校WEBサイトと連動しており、記事をタップすると、邇摩高校WEBサイトの「お知らせ」に繋がります。

緊急連絡も掲載しています。

## 先生方より

「卒業生の皆さんへ」

三年学年主任 岩 墨



ご卒業、おめでとうございます。邇摩高校での三年間が終わり、春からは新しい生活がスタートしますね。この一年はそのスタートに向け、努力を重ねた一年だったと思います。自ら選択した進路を大切に、新たな一歩を踏み出して欲しいと思っています。

今年の大河ドラマ、「どうする家康」では、誰もが知っている天下人、徳川家康の人生が描かれています。「どうする」という選択を迫られ、あの家康でさえ「どうすればいいのか」と悩み、葛藤している姿は心動かされるものがあります。皆さんのこれからの生活でも「どうしよう」と悩む場面が多くあると思いますが、「どうしよう」と悩む状況を「こういう挑戦もできる、まだ別の可能性もある」と前向きに捉える、同じ状況でも全く違う結果になると思います。自分の選択に自信を持って、自分の夢を大切にして、そして体を大切にして活躍してください。

## 贈る言葉

三年一組 担任 井戸朋子



「山あり 谷あり 出会いあり」を信じて、「あせらず くらさらず あきらめず」、実り多き人生を送ってください。

これから自分の力で社会へ羽ばたいていける皆さん、これまでは、敷かれたレールの上のみならず、自分で進めれば良かったのですが、これからは、自分でレールを敷き、進むべき方向を決め、力強く進んでいかなければなりません。「山あり 谷あり」良い時も悪い時もあると思いますが、どんな時も「出会いあり」です。出会いを大切に、人との関わりを大事にして生きていってください。そして、辛い時ほど「あせらず くらさらず あきらめず」です。エネルギーが少なくなったら休んで補給をしましょう。でも前に進むことをあきらめずに、また歩き出してください。

私も、皆さんと出会えたことで、さらに前に進むことができました。ありがとうございます！そして卒業おめでとう！

## 「白い雲」

三年二組 担任 吉村寛之



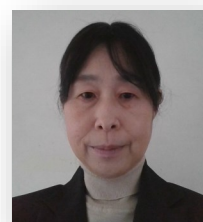
邇摩高校の図書館にドイツ生まれの詩人ヘルマン・ヘッセの詩集があります。「Weiße Wolken (白い雲)」という詩は四季で様々な表情をしながら前に進み続けている雲と、スイスへと旅をするヘッセ自身を重ね合わせたものようです。

現代では地震・水害・感染症・経済不安など世の中では予想もしていなかった現実が待ったなしで舞い込んできて、近年は辛い思いをすることが増えているような気がします。せつかく平等に与えられた時間なので立ち止まっているのではなく「とりあえず行動してみよう」という精神で駆け抜けてみるのも良いのかもしれない。

白い雲の詩からはそんな勇気が与えられる気がします。卒業を迎えて成人となり今後は自己の判断で未来が変化しますが、失敗した時や何かにつまづいた時には空を見上げてみてください。いきつと邇摩高校で築いた仲間の顔が浮かび助けてくれるはずですよ。卒業生の皆さんのご健勝とご活躍をお祈りします。

## 「自分のものさし」

三年三組 担任 小中 洋子



邇摩高校総合学科 第二十六期、九十一名の卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。これからの皆さんのそれぞれの道が希望に満ちた素晴らしいものでありますよう、心から祈っています。

人生は短いようで長く、「もう頑張れない・・・」と思うような苦しいときも多々あると思います。そんなとき、「自分のものさし」を思い出してください。周囲から崖っぷちと思われる状況も「これは自分にとって、這い上がるチャンスだ」と考え直したり、「少し休憩しながら行けと神様(?)が言ってるんだ」と自分なりに解釈したり・・・他人に惑わされず、自分のものさしで人生をみつめ直し、自分の船の舵は自分の手で取って欲しいと思います。中島みゆきいわく「他人に任せるな!」です。(大前提として、もちろん協調性や感謝は大切です。皆さん前途に幸あれ。

卒業おめでとう

進路指導部長 長谷川 みつ江



これで見なさんも立派な大人の仲間入りです。高校生活ではたくさん仲間にも恵まれ、たくさん経験をしたと思います。この経験や思い出は、これからの多くの場面でみなさんを助けてくれることでしょう。

四月からは新しい生活が始まりますが、知らないもの同士が初めて会ったときに、相手を判断するのは見た目です。中身はもちろん大切ですが、その中身を知ってもらうためにも、見た目はとても大切です。清潔感のある、場をわかまえた服装や行動を心がけることは、周りへの配慮であり大人としてのマナーです。自分を客観視し、自分がどうあるべきかを常に考えられる大人になってください。今までの経験を基に、自分自身で判断し、自信と責任をもってこれからの人生を歩んでください。

卒業生より

「悔いのない選択」

三年一組 居石 千春

邇摩高校での三年間は、長いようで一瞬の出来事でした。そしてその一瞬の中で沢山の経験と思い出が得られました。仁心祭や邇摩高フェアを仲間と協力して成功させた日も、進路へのプレッシャーに負けそうになった日も、友達とふざけあつて笑った日も、これからの私の人生を支える大切な思い出です。

「大学受験の勉強はしたくないから」という不純な動機で選んだ邇摩高校でしたが、後悔したことは一度もありません。沢山の人と出会い、新しい経験の積み重ねだったこの三年間を経て今、邇摩高校を選んで良かったと心から思えます。私達の三年間を支えて見守ってくださり本当にありがとうございました。

「感謝」

三年二組 黒木 夢礼

将来の夢を叶えるため、地元福山を離れ、邇摩高校に入学しました。入学してからたくさんの人と出会いたくさんの人と関わってきました。学校生活、寮生活を支えてくれた人、何かに挑戦しようと思ったときに背中を押してくれた人、応援してくれたりした人、みんなにありがとうを伝えたいです。その中でも、私が一番感謝を伝えたいのは両親です。離れていても一番応援し、支えてくれました。

四月から夢であるウエディングプランナーになるための勉強が始まります。自分の夢を叶えるためだけでなく親孝行もできるような高校卒業後も頑張っていきたいと思います。

邇摩高校へ入学し、みんなに出会えたことを誇りに思います。三年間ありがとうございました。

「三年間の学び」

三年三組 小谷 璃奈

四月からはそれぞれが新しい道に進みますが、社会人と高校生の違いは、責任の重さの違いだと思います。高校生が失敗を犯した時には保護者や学校の先生が責任を負うこととなります。高校生は守られる身と言えます。一方、社会人は自分の時間を削り給料をもらいます。お金をもらっている以上、自分のミスは自分の責任であり、さらに同僚や取引相手にも迷惑をかけてしまいます。常に高い意識をもって取り組む必要があります。

私は部活動を通してチームにおける連帯責任を学びました。自分のミスで試合に負けた時、チームで決めたノルマやルールを守れなかった時、自分の行動が周りに与える影響の大きさを学び、責任感を培いました。

新しい環境でも、三年間の経験や学びを活かし、精進していきたいと思えます。

生徒会長より

二年一組

井藤 風香

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私は、部活動や生徒会活動など様々な所で先輩方にお世話になってきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止による制限がある中で、仁心祭や邇摩高フェアなどの行事に向けて頑張られる姿がとてもしっかりと頑張っていました。これからは、私たち二年生が中心となって邇摩高校を盛り上げていき、全校生徒皆が誇りを持てる邇摩高校を目指し頑張っていきたいと思います。二年間、ありがとうございました。

邇摩高フェア、大成功！ <全校生徒で記念撮影>

